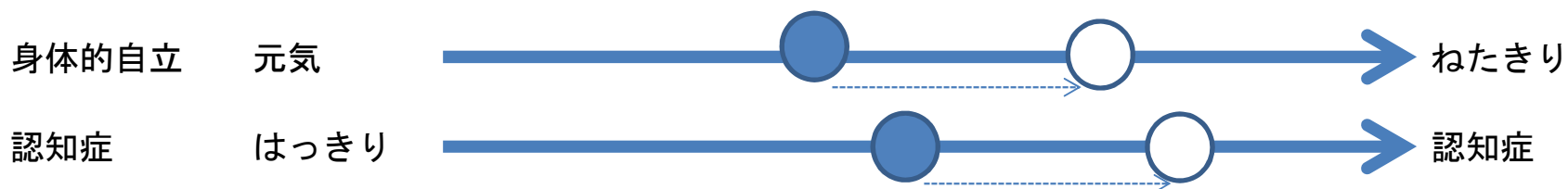


●介護予防とは 高齢者本人が要介護状態になることを防止する、あるいは、その時期を遅らせること



●虐待は何故発生するか

(1) 虐待者（介護者）の要因

①介護者の物理的・精神的ストレスが増える

②介護者の性格特性や価値観

③親子関係を含めた生育歴・生活歴 等

(2) 高齢者本人の要因

①高齢者本人の自立度が下がる

②高齢者本人の性格的特性 等

これを変えるためには
心理カウンセリングや行動療法等の
専門的な支援が必要

●虐待予防の考え方

虐待につながる要因（上記）のうち、周囲の環境（支援者とかサービスとか）によって、軽減できる要因に働きかけていく。そのなかで最も大きい要因である介護者のストレスを軽減する（介護保険サービスを提供して介護者の負担を軽減する）ことが虐待予防の中心となる。また、本人の要因として自分自身の自立度が下がることを予防することが将来的な虐待防止につながる。

【介護予防のレベル】

